

令和7年度向日市環境推進会議 議事録（要約）

開催日時 令和7年7月18日（金）午後2時～午後4時

開催場所 永守重信市民会館第2会議室

出席者 （10名）

岩渕 善美	平安女学院大学子ども教育学部 教授	副委員長
矢野 サチ子	向日市商工会 女性部長	
松本 千穂	市民公募	
玉井 啓子	市民公募	
谷本 於規光	市民団体（土のめぐみ代表）	
清水 敏行	向日市区長会会長	
川手 光春	京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長	
星野 桃子	京都府乙訓保健所 技術次長兼環境衛生課長	
福岡 弘一朗	向日市環境産業部長	
海老澤 陸	イオンモール株式会社 イオンモール京都桂川	

欠席者 （3名）

三輪 信哉	大阪学院大学国際学部 教授	委員長
中西 優子	向日市立第3向陽小学校校長	
松本 文子	イオンモール株式会社 イオンモール京都桂川 オペレーション担当	

事務局 （3名）

紺野 信介	向日市環境産業部ゼロカーボン推進課長
明是 皓介	向日市環境産業部ゼロカーボン推進課係長
山本 公一	向日市環境産業部ゼロカーボン推進課主任

次第

1 開会

2 議事

（1）第3次向日市環境基本計画進捗管理評価報告書について

3 閉会

【配付資料】

第3次向日市環境基本計画進捗管理評価報告書

1 開会

事務局

(欠席委員報告等省略)

副委員長

(あいさつ 省略)

事務局

(資料確認、公開・傍聴等 省略)

2 議事

(1) 第3次向日市環境基本計画進捗管理評価報告について

副委員長

まず、議題1、第3次向日市環境基本計画進捗管理評価報告について事務局からの説明をお願いします。

事務局

(基本計画概要、基本目標1説明 省略)

委員

第3次向日市環境基本計画(P51)に、基本目標3「むこうの緑と歴史が映えるまち」の「農地等の保全と活用」を掲載しており、それに関連して、阪急洛西口駅周辺の土地は農地転用できないと聞いたことがあるが、今はどうなっているか。

事務局

都市近郊農業における営農環境というのが極めて厳しいという状況があり、生産緑地法が今の時代に合わせたような形で、徐々に変わってきている。地権者の方々が、地区計画を立てて、まちづくりをするということであれば、農地転用が可能というふうになってきている。

委員

事務事業編における温室効果ガス排出量は、排出係数によって大きく増減してしまう中で、それに対応する方策はあるか。

事務局

再生可能エネルギーは排出係数に左右されないため、再エネ電気の調達などを、施設所管課と相談していきたい。

委員

今後再エネ電気の取り合いとなってくることが予想されるため、再エネの電源開発も含めて計画をしていく必要がある。

委員

「次世代自動車普及台数」の評価が「△」の理由は何か。

事務局

E V車の普及で市ができることといえば、E V車購入補助金や急速充電ステーションを設けるといったところであるが、それには多大な予算が必要である。

現状の市のゼロカーボン推進施策としては、太陽光発電設備の設置に注力しているため、市の限られた予算の中でE V車の補助金までは手を伸ばせない状況である。

また、市だけではなく、市民や事業所の皆さんの目線でどういったことを、行政だけでなく、どうすればオール向日市で普及できるのかを推進会議で建設的に話をする場と位置付けている。

委員

委員としては「△」はだめだと思う。市は来年度以降予算をきっちり取って、この目標値を達成できるような整備をしていってほしい。公共施設のL E Dの導入は真面目に取り組まれているが、古紙等集団回収など市民が関わるところに「△」が多い。

委員

脱炭素に向けて高い目標を掲げることは重要であり、E V車が達成しなかったのは、高い目標を掲げている裏返しでもある。それに対して達成できなかったという部分は、政策が足りないだけではなく、市民の意識や社会状況が足りないというのがわかったので、今後どう進めかの材料になるのではないかな。

事務局

「古紙等集団回収実績量」については、同時期に事業を開始した公共施設における「拠点回収」の回収量が多い。ただ、計画では「集団回収」の実績を目標としており、「拠点回収」分を上乗せすることはできないと考えている。

副委員長

報告書上、この目標の定義は「集団回収」でいいと思うが、「拠点回収」についても報告書に記載すれば参考になると思う。今後、計画の変更も含めて、この会議で議論していくところになるかと思うので、「拠点回収」についても情報提供してほしい。

委員

古紙等集団回収のところで、相当伸ばすような計画になっているが、見込みはどうなっているのか。

事務局

向日市廃棄物等処理基本計画を根拠としている。

委員

目標設定に当たっての試算や見込みなどのデータがあればまた教えてほしい。

委員

温室効果ガス排出量削減などの数値指標目標の中で優先順位はあるのか。

事務局

全部並列でどれも大事であり取り組んでいる。

委員

「温室効果ガス排出量」について、向日市の場合は、「民生家庭部門」が多く、向日市で取り組んでいる住宅用太陽光発電設備の設置は大きな効果になっていると思う。一方で、気候変動に適応することも大切なことである。

副委員長

引き続き、第3次向日市環境基本計画進捗管理評価報告について事務局からの説明をお願いします。

事務局

(基本計画概要、基本目標2～4説明 省略)

委員

「市民講座の開催数」の実績が年3回になった理由はなにか。

事務局

環境教育を充実するため、昨年度途中から学校出張講座に着手した。しかし学校のカリキュラムの関係で、思うように進まなかった。

今年度は、グリーンカーテン講習会、夏休みの工作教室に加え、2学期から学校の出張講座を実施していく。

委員

数値目標 24「市民講座開催回数」と、数値目標 12「環境市民講座参加者数」はリンクするものなのか。

事務局

リンクしている。

委員

河川水質の計測箇所はどこか。

事務局

寺戸川、石田川（2 箇所）、和井川、小井川の 5 箇所である。

委員

「1 人当たり公園緑地面積」が「△」の理由はなにか。

事務局

市域が狭く、宅地化が進んでいることや、未利用地の土地の価格が高いところ、まとまった土地を確保するのが難しいためである。

委員

数字の見直しが必要ではないか。

事務局

ご意見を「市内環境推進会議」で共有する。また、計画期間は 10 年であるが、例えば 5 年経った時に見直しをするなどについて検討はできると考えている。

委員

食品ロス削減で、衛生環境課が実施している「タベスケ」に登録をしようとしたら、期限が終わっていたようであるが、今の状況はどうか。

事務局

「タベスケ」は協定内容により、試用期間が 1 年間となっているが、この度延長している。所管課に確認すれば食品ロスが何トン防げたという数値はわかる。

委員

資源物をいつでも出しに行ける拠点はどこか、

事務局

缶、びん、ペットボトルであれば、市役所本館の裏にある資源物ステーション、北部防災拠点、鶏冠井コミセン、上植野コミセンに設置している。

副委員長

そのような情報が市民の方がわかるようになっているか。

事務局

市が発行しているごみ出しカレンダーに記載している。

委員

第3次環境基本計画の第7章（P76～78）記載の推進体制（「向日市環境市民ネットワーク会議」「環境庁内推進会議」「向日市環境推進会議」）が機能していない。

第2次向日市環境基本計画のときに、ネットワーク会議ができ、当初は月1回開催していた会議が、コロナ禍を経て、年2回になり今は1回となっている。ネットワーク会議が環境行政を進めるには大事なことなので、ネットワーク会議が動くようにしてほしい。

事務局

「ネットワーク会議」、「環境推進会議」、市役所の中である「庁内環境推進会議」の3つが連携をするというのは、計画上にも記載している。

ネットワーク会議の会長とも相談をして、数ヶ月に1回は実施をしましょうと提案している。今回のご意見についてもネットワーク会議で共有するというのも一つの提案かと思う。

また、実際に、様々な活動に取り組まれている皆様から今の取り組み状況を聞かせていただきたい。

副委員長

ほかになれば議事についてはすべて終了となる。

次回の環境推進会議の開催予定について事務局から説明を求める。

事務局

委員任期が令和7年10月31日までとなっている。この間、本市環境規範基本計画の推進に当たり、それぞれのお立場でご意見を賜ったこと、改めて御礼を申し上げる。

副委員長

時間となったため閉会とする。

どうもありがとうございました。